

会議の経過	
開会年月日時刻	令和6年12月24日(火) 午後3時00分
閉会年月日時刻	令和6年12月24日(火) 午後4時39分
会議の場所	館林市役所 研修室
会議次第	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会議録署名委員の指名 3. 前回会議録の承認 4. 教育長事務報告 5. 議事 <ul style="list-style-type: none"> 議案第65号 令和6年度奨学資金(追加募集)貸与者の決定について (非公開) 議案第66号 令和7年度奨学資金(新規募集)貸与候補者の決定について (非公開) 議案第67号 臨時代理の承認を求めることについて(令和6年度教育費補正予算) 議案第68号 学生支援給付金給付事業実施規則の制定について 議案第69号 館林市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第70号 館林市物価高騰対応学校給食費助成金(令和6年度)交付要綱の制定について 6. その他 7. 閉会 	

会議の経過

出席委員	<p>第1番 栗原 昇 第2番 井上 美智子 第3番 堀口 哲哉 第4番 川島 健治 第5番 木戸 浩之</p>
欠席委員	<p>第1番 第2番 第3番 第4番 第5番</p>
提案説明のため出席した者	<p>教育長 川島 健治 教育次長 戸叶 俊文 教育総務課長兼学校給食センター所長 木村 和好 生涯学習課長 廣澤 篤行 参事兼学校教育課長 平井 智久 文化振興課長 中村 豊 スポーツ振興課長 高橋 一哲 向井千秋記念子ども科学館長 石崎 治 図書館長 森田 秀利 総括係長 荒川 博一 書記 横山 瑠璃子</p>

会議の経過

教育長

それでは、定刻となりましたので、館林市教育委員会定例会を開会いたします。
(午後3時00分)

本日の日程は別紙のとおりです。

次に、日程第2 会議録署名委員を指名します。

今回の署名委員は3番 堀口委員、5番 木戸委員を指名いたします。

次に、日程第3 前回会議録の承認については、後日読んでいただき承認するものとしてよろしいでしょうか。

(委員から「異議なし」の声あり)

教育長

異議ないものと認め、そのようにいたします。

次に、日程第4 教育長事務報告をいたします。

一般事項(1) 館林市議会令和6年第4回定例会が、12月6日から12月19日まで行われました。一般質問では、8名の議員が質問を行いました。教育委員会関係では6名の議員から質問を受け、岩上議員については私から、飯島議員、平井議員、田辺議員、篠木議員、斉藤議員については教育次長から答弁いたしました。まず、飯島議員からは、「地域力について」の質問を受け、地域における公民館の役割について地域住民のつながりという観点から、防災意識の向上や世代を超えた相互理解を深めている現状について答弁いたしました。次に、平井議員からは、「GIGAスクール構想で配備された端末の更新について」の質問を受け、端末の更新時期や処分の際の留意事項等について答弁いたしました。次に、岩上議員からは、「部活動地域移行の進捗状況等について」の質問を受け、各中学校における部活動の実施状況のほか、地域移行の進捗状況について、また、学校体育館への空調設備設置の要望に関しての現状と課題などについて答弁いたしました。次に、田辺議員からは、「学校給食の全額無償化とオーガニック化について」の質問を受け、給食費の未払い家庭の状況や家庭の負担軽減に向けた取組、更にはオーガニック化に対する本市の考えなどについて答弁いたしました。次に、篠木議員からは、「公民館の運営について」の質問を受け、公民館の休館日追加に関する検討内容について様々な団体等からの意見を聴きながら適切な休館のあり方について議論していくこと、また、政党等の利用に際しては、法令のもと引き続き適切に運営していく旨、答弁しました。最後に、斉藤議員からは、「受益者負担の考え方と施設運営について」として、田山花袋記念文学館と公民館の運営、学校開放事業に関する質問を受け、各施設における利用状況と課題、今後の運営に対する考えを答弁しました。

会議の経過

	<p>私からの報告は以上でございます。</p> <p>続いて、教育委員会各課の処理事務報告ですが、議案書に記載されている事柄について補足説明等必要なものがありましたら、説明をお願いします。何かございますか。</p> <p>(事務局から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>それでは今回の事務報告につきまして、質疑がありましたらお願いします。</p>
栗原委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、栗原委員。</p>
栗原委員	<p>2ページの教育総務課の後援について、1月26日に夢みる給食上映会がありますが、その内容と、どのような方が参加されるのか教えていただければと思います。</p>
教育総務課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、教育総務課長。</p>
教育総務課長	<p>こちらにつきましては、記載のとおり申請者が館林食の安全を考える会という団体でございまして、この上映会を文化会館小ホールで行うとのことです。午前と午後の2回あるそうです。観覧料は大人が1,200円ですが、高校生以下は無料ということで聞いております。この映画の内容について、一言で申し上げますとオーガニック給食関係のドキュメンタリーでして、それを市民や従事する農家の方々などを対象にドキュメンタリーにしたそうです。説明は以上でございます。</p>
栗原委員	<p>特に上映内容については差し支えないということですね。</p>
教育総務課長	<p>学校給食センターでオーガニック給食を、というお話が一般質問でもありましたが、こちらの団体は任意で、こういったところが理想だというような形でやっている団体ですので、そこは承知していくということでご理解をいただければと思います。</p>
栗原委員	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
堀口委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、堀口委員。</p>
堀口委員	<p>同じページの、12月26日に行われるハロまるお仕事カード体験学習について内容を教えていただければと思います。</p>
教育総務課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、学校給食センター所長。</p>
教育総務課長	<p>こちらにつきましては、公共職業安定所ハローワークの主催でござい</p>

会議の経過

	<p>す。子どもに対して、仕事にはどういったものがあるかをカードゲームのような形で体験してもらい、親子で職業を知るきっかけをつくるという内容でございます。こちらはハローワークの2階を会場として、親子6組限定という少数で行うような形となっております。以上でございます。</p>
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	4ページの行事に関する事で、11月29日の令和6年度東毛地区地域と学校の連携・協働推進フォーラムについてですが、こちらは昨年度の資料に掲載されていなかったと思います。毎年行っているものなのか、また、内容について教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	同事業は東部教育事務所主催で、館林文化会館小ホールを会場に行われたもので、東部教育事務所が所管しているのが4市5町で、桐生市、太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町となります。社会教育関係者及び義務教育関係者、その他、PTA役員、民生委員児童委員、主任児童委員、放課後児童クラブ関係者等が対象となっております。講師に栃木県真岡高等学校長をお招きし、「子どもの成長を支える学校と地域の連携・協働を考える」と題しまして、講演とワークショップを実施いたしました。講演の中で、なぜ学校と地域の連携・協働が必要か、それに取り組むことで子どもたちや教職員、地域、保護者に対してどのような効果が期待されるのか、事例を交えて講演いただきました。なお、同事業につきましては、毎年管内4市5町を持ち回りで開催している状況です。以上でございます。
木戸委員	令和6年度に関しては館林市が担当市で、それ以前は別の市で行っていたということですね。
生涯学習課長	おっしゃるとおりで、今回は館林市を会場として開催された形です。
木戸委員	理解しました。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	5ページと7ページの赤羽公民館と渡瀬公民館についてです。各公民館まつりがありましたが、赤羽公民館は赤羽ふれあいまつり、渡瀬公民館は渡

会議の経過

<p>生涯学習課長 教育長</p>	<p>瀬交流会としていますが、その理由がありましたら教えてください。 はい、教育長。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>はい、生涯学習課長。 渡瀬公民館は令和3年度から、赤羽公民館は令和6年度から公民館まつりという名称から変更して実施しております。当市の公民館まつりは地域住民を主体としまして、自治会を中心に各種団体、小学校や中学校と、地域によっては地域に工場を有する企業等に参画を促し、地域全体の活性化を目的に実施しております。名称を変更した2館につきましては、地域主体の祭りの一つとして位置付けていただけるよう、気軽に足を運んでいただけるよう、名称を変更したものでございます。以上でございます。</p>
<p>井上委員 教育長</p>	<p>わかりました。ありがとうございます。 そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>栗原委員 教育長 栗原委員</p>	<p>はい、教育長。 はい、栗原委員。 1月26日に予定されている上毛かるた大会ですが、参加状況等、今の段階でわかることを教えてください。以前は盛んでしたが、コロナ禍以降、地区によっては上毛かるたの練習をやめてしまいました。現在の取組状況等を教えていただければと思います。また、上位入賞した個人や団体は県大会につながるのでしょうか。</p>
<p>生涯学習課長 教育長 生涯学習課長</p>	<p>はい、教育長。 はい、生涯学習課長。 今回は個人の部で小学校低学年、こちらが1年生から4年生までの8人、小学校高学年の部で4人、中学生の部で1人の計13人の方が出場します。団体の部では、小学校低学年は同じく1年生から4年生までの団体が5団体で計17人です。小学校高学年の部が4団体、こちらが12人、中学生団体の部につきましては参加者がおりません。合計9団体で29人の方が出場いたします。続きまして、コロナ禍以後の各地区の取組状況についてご説明いたします。コロナ禍前の令和元年度につきましては、9学校区・145人、中学校3年生の参加もございました。この中学校3年生というのは内数になります。令和5年度から上毛かるた大会を改めて開催したわけですが、申込数は4学校区まで減少しました。現在、各地区大会というのはどこも行っている地域がない状況です。ただし、1学校区、緑町一丁目子ども会が毎週練習を行っていると同っております。大会の上位入賞者につきましては、各部門の優勝者は2月9日に開催予定の県大会に出場する予定となっております。以上でございます。</p>

会議の経過

栗原委員	館林市だけでなく様々な地域で、コロナ禍を経て上毛かるたの練習や出場者が少なくなったのでしょうか。
生涯学習課長	おっしゃるとおり、県大会におきましても、参加人数全体を把握はしていませんが、人数の減少は否めないかなと感じております。
栗原委員	寂しいですが、仕方ないですね。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	7ページの渡瀬公民館について、11月10日のマナビィクラブと11月12日の学社連携講座、この2つの事業内容を教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	まず、11月10日(日)のマナビィクラブでは所沢航空発祥記念館を見学しました。ここでは航空機の歩みや空に関わる科学技術、そして文化について理解を深めました。次に行った「りっくんランド」ですが、こちらは陸上自衛隊広報センターになっており、陸上自衛隊の組織や遠征、任務、役割、活動状況を学び、理解を深めました。なお、参加者は児童が12人、引率者が3人でした。続きまして、11月12日(火)に行われました学社連携講座についてお答えいたします。こちらにつきましては、第九小学校4年生を対象に全2回の講座として実施いたしました。小学校4年生が18人、4年生の担任教諭と補助の先生が2人、渡瀬公民館館長及び公民館主事2人の、計22名の方が参加して行われました。講師はNPO法人足尾鉍毒事件田中正造記念館理事長等をお願いをしました。内容としまして、まずは座学で足尾鉍毒事件と環境問題について紙芝居でご説明いただきました。こちらの紙芝居はイメージが絵で書いてあるので、わかりやすい形になっており、また臨場感あるナレーションがとても印象深く、内容も伝わりやすかったというお話を聞いております。ただ、時間帯が40分という長編作品であったため、児童には少し長く、集中力が続かないと感じたそうです。続きまして、足尾鉍毒事件等に関する説明につきましては、銅やカラム等現物を見せながら説明をしていただきました。なお、カラムとは採鉍・選鉍・精錬する過程で発生する排水解析などの廃棄物の一つでございます。以上でございます。
堀口委員	わかりました。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。

会議の経過

木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	戻りまして4ページですが、1月26日に予定されている市制70周年記念事業について教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	お答えいたします。こちらは2項目立てになっておりまして、1つは「東洋大学陸上競技部から教えてもらおう～楽しく早く走るコツ!～」と、もう1つが「たてばやし謎解き?ウォークラリー～こうちゃんからの挑戦状～」で、こちらはこうちゃんという、元QuizKnockで第三中学校出身の方が監修となっていております。「東洋大学陸上競技部から教えてもらおう～楽しく早く走るコツ!～」につきましては、午後1時から3時まで、内容としましては短距離の陸上教室、あとはお楽しみ企画を考えているそうです。会場は城沼陸上競技場で、見学・応援は自由となっております。市内小中学校に通う児童生徒110名が対象で、Aグループは小学校1年生から3年生で定員30名、Bグループは小学校4年生から6年生で定員40名、Cグループは中学生全員、こちらが定員40名です。講師は東洋大学陸上競技部短距離部門コーチの土江寛裕先生、選手といたしましては柳田大輝さんほか3名に来ていただける予定になっております。なお、申込みの関係ですが、12月26日までにメールで受け付けております。応募者多数の場合は抽選を行い、1月10日までに該当者には結果をお知らせすることになっております。続きまして、「たてばやし謎解き?ウォークラリー～こうちゃんからの挑戦状～」についてご説明いたします。こちらは時間が午後1時30分から3時45分頃まで、受付は随時しておりまして、1回30分から40分程度のものになります。内容ですが、館林市について学べる謎解きをこうちゃんに作っていただきました。子どもから大人までどなたでも参加できます。事前申込みは不要となっております。こちらにつきましては雨天中止となります。以上でございます。
木戸委員	東洋大学とあり、もしかしたらと思いましたが、そういう縁があるのだと感じました。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	11ページ、青少年育成関係機関連絡会議で協議されたようですが、その概要を教えてください。と思います。

会議の経過

生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	青少年育成関係機関連絡会議につきましては、群馬県警察本部子ども女性安全対策課が主催したものでございます。ご質問の情報交換とグループ協議、少年非行と健全育成に向けた課題対策につきましては、グループホームという形で太田市、沼田市、館林市、渋川市の4市で行いました。本市は、館林市青少年センターにおける補導員会のパトロール実施継続が課題と考えております。その取組といたしまして、補導時間等、校長先生からの要望や現状に即した体制づくりのため、教員やPTAの労働時間帯の見直しを試験的に行うとともに、補導班、一班当たりの人数を増やすことでパトロールができない日を無くすための試みを11月中に実施している旨を報告させていただきました。青少年センターでは何よりも補導活動が大切であり、青少年の健全育成につながるものと考えておりますので、これからも実施していきたいと考えております。以上でございます。
栗原委員	パトロールを推進していく上での課題点等が話し合われたということですのでよろしいですか。
生涯学習課長	おっしゃるとおりです。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	12ページ、11月は午後の巡回人数が多かったようですが、何時頃巡回しているのでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	まず、一番早い時間帯が午後3時となっています。こちらが3班ございます。午後4時の時間帯が5班、午後6時が1班、午後7時が9班、午後6時以降が1班、計19班でパトロールを日替わりで行っている状況です。以上でございます。
井上委員	そうしますと、件数で多い公民館、学童保育、駅付近は何時頃のことでしょうか。
生涯学習課長	巡回する時間につきましては、大体毎回「このポイントを回ってください」と指導員の方からパトロールしている方をお願いしており、時間もまちまちです。公民館等につきましては、大体午後6時～7時の間に活動し、公民館に実際に入って状況を把握し、パトロールを実施しているような状況

会議の経過

井上委員	でございます。以上でございます。
教育長	ありがとうございました。
木戸委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
木戸委員	はい、木戸委員。
学校教育課長	13ページ、校長会議で教職員の時間外勤務の報告がありますが、時間外勤務は月当たりどの程度を理想とされていて、現状ではどの程度あるのか教えていただければと思います。
教育長	はい、教育長。
学校教育課長	はい、学校教育課長。
木戸委員	お答えいたします。時間外の勤務時間は月当たり45時間以下を目標としております。この会議では10月の結果を示したのですが、10月の45時間以下の状況は小学校で73.9%、中学校で43.8%でした。一方、過労死ラインといわれている80時間以上の状況は小学校で5名おまして、全体にすると2.0%でした。中学校では15名で、全体の11%に当たりました。今後、教職員の多忙化解消や、心身の健康保持などに向けて必要な情報等を提供することを考えております。以上です。
学校教育課長	全体的に中学校の時間外が多いのは、やはり部活動というものが大きい要因になっているのでしょうか。
木戸委員	部活動が大きな要因になっていると考えております。ただ、最新の情報で11月の80時間以上の結果では小学校は1名、中学校は7名が超えていたということで年々減少はしていますが、ここ数年はほぼ横ばいという状況なので、今後も新たな取組等も情報共有していけたらと考えております。以上です。
教育長	様々な取組があると思いますが、何かしらICT技術などを活用してできることがあれば積極的にやっていただければありがたいなと思います。
堀口委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
堀口委員	はい、堀口委員。
堀口委員	15ページの事業報告の中で11月21日野外体験活動がありますが、今回はどのような体験活動をされたのか教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	こちらは東毛少年自然の家で野外活動したものです。活動といたしましてはピザ作り、生地からピザを作ってベーコンや野菜を切ってトッピング

会議の経過

	<p>し、その場で焼き、自然の家で作っていただいたパスタと一緒に合わせて野外で食事をしました。青空の下、おいしくいただきました。また、レクリエーションといたしまして、近くに鎖場とって5メートルほどの崖に鎖が何本か垂れ下がっているのですが、そこをアスレチックのように登る体験をしたりシャボン玉を皆で作ったりと、そのようなレクリエーションをしてまいりました。以上です。</p>
堀口委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	13ページの学校教育に関することですが、11月は開かれた学校ということで各学校にて授業公開があったようです。コロナ禍の場合は地域住民に学校からの案内が回覧板で届いていたのですが、私の学区では特にそういった回覧板等はありませんでした。今年度予定している地域住民への案内について、現状を教えてくださいたいと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	全て把握しているわけではないのですが、地域にお知らせをしたという学校もあったようです。学校によっては、自校の保護者だけにお知らせしたところもあるようです。内容につきましては、授業の公開に加えて様々な行事等を設けた学校が多かったようです。例えば、講師を招いて講演を実施した学校もあります。第一中学校では柳田選手を講師に招いて行いましたし、第四中学校では堀口委員に講師をお願いしたとのことで大変お世話になりました。あとは、150周年記念を兼ねて卒業生のチェロ演奏とキャリア教育ということでお話をいただき、座談会や音楽会を開いた学校もあったようです。そのほか、保護者と一緒に防災訓練を実施した学校もありますし、総合的な学習の時間の発表等をした学校と、様々に工夫し行われたと聞いております。以上です。
栗原委員	地域ごとに回覧がある学校とない学校があるという話があります。できれば、回覧を流していただければ、今学校でどのようなことに取り組んでいるかなど知って、足を運びやすくなるかなと思います。コロナ禍で衰えてきてしまったので、開かれた学校ということにしても良いのかなという気はいたします。以上です。
教育長	堀口委員もご講演いただきありがとうございました。そのほか、いかがでしょうか。

会議の経過

井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	14ページの不登校状況について、11月に中学校81名とありますが、その中に3年生は何名程度で、進路希望はどのようになっているのか教えてください。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	11月の中学生は81名ですが、中学3年生は28名です。進路先はまだ決まってない生徒もいるのですが、中には通信制の高校として成美学園、それと太田市にあります鹿島学園、館林高校の定時制、栃木にある私立高校を希望している生徒もおります。そのほか、館林の高等特別支援学校を希望する生徒や就職希望の生徒もおります。まだこの時期で揺れ動いている生徒も多いですが、現時点ではこのような希望をしている生徒が多いです。以上です。
井上委員	ありがとうございます。何か転換できるような希望があると良いと思います。お忙しいでしょうが、引き続きよろしく願いいたします。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	10月、11月とICTの公開授業を見せていただきありがとうございました。子どもたちはどの学校でもタブレットを自由に使っているなどという感想です。そして、更に学力の要素である思考力や表現力も随分育っていると思いました。今後、ICTを推進していく上での課題等があれば教えてください。また、私の考える課題として、タブレットを持っているのですが、子どもたちが何を考えるのか教員が明確に質問をした方が良いのかなと思うことと、発表した理由や根拠となる理由の文章化・資料化などして、これを使って説明できる場面があると良いと思いました。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	1人1台端末の導入からまもなく4年経とうとしております。課題といたしましては、栗原委員がおっしゃるように、目的の提示や、自分の考えの根拠を明確にしながら説明する力、そのような育成も本当に課題であると考えております。以前のようにICTをとにかく使ってみるといところから、現在は目標達成に向けて、効果的な場面で利用していくという変換が必要であると考えております。研究員の方では、主体的・対話的で深

会議の経過

	<p>い学びの実現に向けて教師がさせる授業から児童生徒がする授業へと示されております。今後、更に個別最適な学びや協働的な学びの一体的な充実の推進に向けて、ICTを効果的に活用していきたいと考えております。また、どの教科であっても言語能力の育成に向けて訪問等では指導してまいりました。言葉にしっかり着目させて、言語理解や思考力、表現力をしっかりと身に付けさせていく、そのような授業づくりに向けて指導・助言等を繰り返してきましたので、今後もそのような力が身に付くよう取り組んでいきたいと考えております。以上です。</p>
栗原委員	<p>教育委員同士でも、やはり書く力や語彙力などが基本にないと、なかなか知識理解が追いつかないのかなと話していました。課題があると思いますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
木戸委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、木戸委員。</p>
木戸委員	<p>学校教育に関することで、12月に入っていくとかなり気温も下がってきて体調を崩す児童生徒が多いと聞くのですが、現状の様子はどうかというところと、もう冬休みに入りますが対策という点でもし行っていることがあれば教えていただければと思ひます。</p>
学校教育課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、学校教育課長。</p>
学校教育課長	<p>今日無事に2学期の終業式を迎えたのですが、やはり冬場になってきてインフルエンザの罹患者や発熱・風邪症状の児童生徒は増加しておりました。インフルエンザに係る学級閉鎖ですが、12月9日にインフルエンザの方が学校で多かったということで、給食後早帰りをし、その後数日学級閉鎖という報告が4学級ありました。昨日までの状況では、早帰りを含めて学級閉鎖をしたのは18学級ありました。それから学年閉鎖もありました。早帰りも含みますが、4つの学年で学年閉鎖です。小学校では4校、中学校では3校ありました。対策として、コロナ禍と同様に手洗いやうがい、マスクの着用、咳エチケット、あとはこまめな換気が必要だということで、各学校でしっかりと取り組んでいただいていたようです。以上です。</p>
木戸委員	<p>1月以降も寒そうですね。引き続き対策していただければと思ひます。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
堀口委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、堀口委員。</p>

会議の経過

堀口委員	20ページの後援に関する事で、2月16日の「USF Sports Camp in 群馬」について教えていただければと思います。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	お答えいたします。まず、申請者及び主催者であります一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION、略式名USFについて、こちらは2011年9月20日に東日本大震災で子どもたちから消えた笑顔をスポーツの力で取り戻そうと、東北を中心に活動をスタートし、現在はスポーツを通じた社会貢献活動を全国で行っている団体です。今回の事業は通常宿泊を伴うイベントですが、日帰りでの開催となっており、2月16日(日)にALSOKぐんま総合スポーツセンターで開催されます。対象は小学校1年生から6年生までの80人となっております。具体的な内容としては、午前・午後に分け、走り方、バレーボール、ホッケー、ボクシングの4種類の教室を予定しており、元日本代表選手や元プロ選手と子どもたちが直接触れ合い、学べるイベントとなっております。以上です。
堀口委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	20ページにある第77回市民歩け歩け大会の内容について教えてください。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	お答えいたします。市民歩け歩け大会については、春と秋の年2回開催しており、春は市内8地区の持ち回りで開催、秋は市外で開催しております。今年は「秋の長瀨を満喫しよう」というテーマのもと開催いたしました。当日は館林駅に集合して電車を乗り継ぎ、秩父線の樋口駅からスタートし、白鳥神社、長瀨元気プラザ、金石水環境、岩畳で昼食・自由行動から長門大井駅まで約7キロのコースを歩き、一般参加者19人、市ウォーキング協会の役員を含めて総勢35人で実施いたしました。以上です。
井上委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。

会議の経過

栗原委員	26ページ、子ども科学館で11月23日に行われたプラネタリウム・ヒーリングについて、私も行きましたがとても良かったです。どのような方が参加されたのでしょうか。また、参加された方々の反応を教えてください。子ども科学館という名前ですのであまり大人の方が行く機会がないと思いますが、その辺りも含めてどのような反応があったか教えていただければと思います。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。
教育長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
向井千秋記念子ども科学館長	当日はお越しいただき誠にありがとうございました。まず、参加者数はこちらの資料にありますとおり177名で、これまでで一番の参加者数でした。参加された方の反応について、アンケートの結果からお答えいたします。参加された方は50代から60代の方が46%と最も多く、30代から40代の方が23%、70代の方が22%、その他10代・20代が9%と幅広い世代の方に参加していただきました。次に、反応についてですが、96%の方に「また参加したい」と答えていただき、自由意見については、「癒される素敵な時間でした」「心地よかった」「毎年楽しみにしています」など好意的な意見が寄せられ好評でした。大人向けの特別イベントとして定着しているといえると考えております。また、委員がおっしゃいましたように大人向けのイベントを望む声もあり、来年度に向けてプラネタリウムをはじめ、大人が参加したくなる事業を検討してまいります。
栗原委員	内容と回数が増えることを期待しています。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	戻りまして15ページ、相談事業のところに来所相談件数48件ということで非常に増えている状況だと思います。昨年度の資料を見ても、11月が非常に多かったのですが、どういった内容が多いのか、この時期独特のものなのか聞かせていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	お答えします。相談で多かったのは不登校や登校渋りの内容がほとんどです。その中で学校の良さや家庭での様子、親子関係などについての相談や、「話を聞いてください」ということでお話を伺うケースが多かったと聞いております。11月は委員がおっしゃったとおり、昨年度も45件で非常に多かったのですが、考えられる要因といたしましては、昨年度も今年も

会議の経過

	<p>11月に担任参加を実施しております。担任の先生が実際にふれあい学級の方に行って参加するのですが、その時に子どもたちの相談場面もありますので、そちらもカウントしているというところもあります。あとは、今年度はふれあい学級に関心があるということで数名から「ふれあい学級ってどんなところですか」という相談も比較的あったということです。また、例年11月は運動会や合唱祭など大きな行事が一段落ついて、通常授業が日々行われている中でなかなか学校に足が向かず、それに伴って相談数が増えているのではないかと思います。今後、来所された方には適切に対応していきたいと考えております。</p>
木戸委員	理解しました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	26ページ、10日と24日に行われましたサイエンスショーについて教えていただければと思います。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。
教育長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
向井千秋記念子ども科学館長	お答えいたします。サイエンスショー「キッチンサイエンス」とは、家庭の身近な物で科学への興味・関心を深めていただくことを目的に、野菜や調味料のような台所にある物を使って実験を行うものでございます。野菜を使った実験ではニンジン、ジャガイモ、トマト、キュウリ、ダイコン、カボチャなど、大小様々な野菜を水の中に入れて、何が浮かび、どうして浮かぶのかについて、また、調味料を使った実験ではお酢や重曹、塩などを使って泡の出る化学反応について、いずれも会場の人たちと一緒に楽しく考えながら進めていくものでございます。以上でございます。
堀口委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	16ページの11月行事について、11月3日にいくつか行事ありますが、館林市新指定重要文化財お披露目式の内容を教えてください。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	こちらにつきましては、7月の定例会で議決いただきました館林市指定重要文化財の刀2振「上毛館林住山口英光」と「上州館林住輝吉」を、第一

会議の経過

<p>木戸委員 教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	<p>資料館特別展の展示場の中に展示しまして、刀の所有者の方をお招きして文化財指定書の贈呈を行ったほか、日本美術刀剣保存協会の方による刀剣解説をお願いするなどのお披露目式をいたしました。当日は第1日曜日ということで資料館の展示解説会の日でしたので、一般見学者の方も何人かいらっしゃいまして、皆さん解説に耳を傾けてございました。余談になりますが、展示会の中でこうした動きを取り入れたということで訪れる近世ファンや刀剣ファンが非常に多く好評でしたので、本来なら12月初旬で終了する予定だったのですが、年内いっぱいまで会期を延長しまして現在も開催してございます。おかげさまで館林市史や報告書などの書籍も非常に売れておりまして、これまでになく好評と考えてございます。以上です。引き続き、魅力的な企画をしていただければと思います。</p> <p>そのほかでございますか。</p> <p>(事務局から「なし」の声あり)</p> <p>ないようですので、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p> <p>異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。</p> <p>次に、日程第5 議事に入ります。</p> <p>まず、本日、追加議案としまして、議案第67号 臨時代理の承認を求めることについてから議案第70号 館林市物価高騰対応学校給食費助成金(令和6年度)交付要綱の制定についての計4件が提出されました。このことについて、議題として取り扱うものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>次に、議案第65号及び議案第66号につきましては、館林市教育委員会会議規則第17条第1項により非公開としたいと思いますが、非公開としてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p> <p>異議なしと認め、ただいまから教育委員会を非公開とします。該当者については、一時退室を願います。</p> <p>【傍聴人及び事務局対象者 退室】</p> <p>(非公開)</p>
---	--

会議の経過

	<p>【傍聴人及び事務局対象者 入室】</p>
教育長	次に、議案第67号 臨時代理の承認を求めることについてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。
教育総務課長	(別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 令和6年度歳入歳出予算を別紙のとおり調製し、館林市長に申し出るものとして臨時代理したので、承認を求めるものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。
	(委員から「なし」の声あり)
教育長	それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。
	(委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。
	次に、議案第68号 学生支援給付金給付事業実施規則の制定についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。
教育総務課長	(別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 物価高騰による影響を緩和し、修学の継続が困難なものとならないよう、学生への支援を行うことに関し必要な事項を定めるため、本規則を制定しようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	申請するのは学生本人でしょうか、それとも保護者でしょうか。
教育総務課長	はい、教育長。
教育長	はい、教育総務課長。
教育総務課長	学生への修学継続支援ですので、基本的には学生本人となります。
栗原委員	学生本人が申請して本人の口座に振り込まれるということですね。わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
	(委員から「なし」の声あり)
教育長	それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するも

会議の経過

教育長	<p>のとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)</p>
教育長	<p>異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。 次に、議案第69号 館林市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。</p>
学校給食センター所長	<p>(別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 学校給食費の特例の条件を追加するため、本規則の一部を改正しようとするものである。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。</p>
教育長	<p>(委員から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。</p>
教育長	<p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
教育長	<p>異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。 次に、議案第70号 館林市物価高騰対応学校給食費助成金(令和6年度)交付要綱の制定についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。</p>
学校給食センター所長	<p>(別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 学校給食費の無償化に伴い、助成金を交付することに関し必要な事項を定めるため、本要綱を制定しようとするものである。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。</p>
教育長	<p>(委員から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。</p>
教育長	<p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
教育長	<p>異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。 次に、日程第6 その他何かございますか。</p>
教育長	<p>(委員等から「なし」の声あり) ないようですので、以上で本日の全日程を終了します。 これにて教育委員会を閉会します。 (午後4時39分)</p>